

考えてますか？

防犯
のこと

安全な街に安心して暮らしたい —。誰もが願っていることです。しかし、残念なことに、毎日のように新聞やテレビで伝えられるさまざまな犯罪。そのほかにも、ひったくりや空き巣ねらいなどの犯罪はすぐ身近で起きています。昨年1年間の区内の犯罪発生件数は1,771件。10区の中では一番少ない数字です。皆さんはこの数字から何を感じますか。「清田区は安全。自分の身には起こらない」？それとも「もはや人ごとではない」？

防犯のためには、一人一人の日ごろの心掛けが重要です。

空き巣ねらいから守る！

空き巣ねらいの多くは、玄関、窓、縁側ベランダからの侵入です。窓ガラスを破って開錠したり、ドアの鍵を開けて侵入したり。しかし、空き巣ねらいにとって「物音を立てる」「侵入に時間がかかる」方法は嫌はず。実は、玄関やベランダの窓の施錠忘れにより、空き巣に入られる場合が多くあります。空き巣ねらいが犯行にかけける時間は、およそ5分。例えば、ごみを出しに行くような短時間の外出でも油断は禁物。必ず鍵をかけましょう。

また、玄関や窓には2つめの鍵「補助錠」を付けましょう。1カ所の鍵を開けたのに、まだ戸が開かない。そうしているうちに侵入をあきらめる場合が多いのです。



ひったくりから守る！

駆け足、自転車、オートバイ、自動車などで走り抜きざまに、手に持っているかばんや自転車の前かごの荷物を奪う犯罪が増えています。特に、高齢者や女性が狙われています。

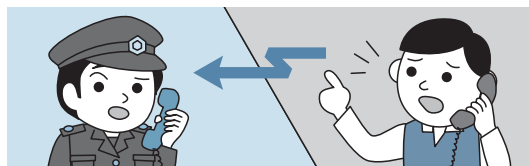
人通りが少ない道や暗い道は避け、かばんは車道と反対側の手で持つようにしましょう。

また、自転車のかごには全体を覆う防犯ネットの装着を。



オレオレ詐欺から守る！

身内を装って電話をかけ、金品を要求する犯罪が横行しています。被害者の多くは、「オレオレ詐欺」という手口の内容を知りつつも、だまされています。とにかく慌てず、相手に名乗らせる。そして、再度事実を確認し、家族や警察に相談しましょう。



車上ねらいから守る！

犯行の狙いは車内に置かれている金銭や貴重品。車から離れるときは、貴重品を車内に放置しないことが何よりも重要。また、貴重品が入ってなくても、かばんなどを車内の目に付くところに置くことは危険です。

「おはよう」「こんにちは」のあいさつ
それが地域の防犯の基本

「大人にも子どもにも、あいさつをするように呼びかけてます。あいさつは心を和ませ、つながりが持てるでしょ。簡単なことだけれど、犯罪を起こさせない大きな抑止力になると思うんです」と笑顔で話すのは、高杉彰さん。清田地区町内会連合会防災防犯部長として、地区内のパトロールや研修会の開催など地域の防犯意識を高める取り組みを続けています。そうした長年の貢献に対し、ことし6月北海道警察から表彰を受けました。「防犯活動というのは、とにかく地味。すぐに効果は現れないけど、一步一步だね」。高杉さんの「縁の下の力持ち」としての活躍は続きます。

応えます あなたの相談 #9110

「自分の安全は自分で守る」という意識はもちろん大切。でも、困りごとがあるとき、不安や危険を感じているときは迷わず北海道警察相談センターへ。24時間いつでも受け付けています。ストーカーや迷惑行為、家庭内暴力、子どもの非行などのご相談、警察業務に関するご意見などを受け付けています。

北海道警察相談センター ☎ #9110

(プッシュ回線の電話、公衆電話、携帯電話、PHSからの利用)

ダイヤル回線の場合 ☎ 241-9110

耳のご不自由な方 (FAX) 241-1110